

公表日

2026年 3月 23日

事業所名

こぼんはうすさくら 伊丹稲野教室

保護者等数(児童数) 14名

回収数 13件(割合92%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				広くて活動しやすい。 狭いながらも工夫がありしっかり体が 動かせるようになっている	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		1	手厚いと感じており有難い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いま すか。	12			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	13				子どもが使いやすいように工夫されてい る	
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の ある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	12			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	13				いつも子どものことを良く見てくださっ ていると思う	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に 必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が 設定されていると思いますか。	13					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いま すか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると 思いますか。	10			3	外出があれば良い	教室外での支援も積極的に導入する。 ブログを閲覧していただけるよう保護者 に伝える
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動 する機会がありますか。	3		4	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明が なされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。	3		3	7	ペアトレやアンガーマネジメントの講座 があれば受けてみたい	2026年度よりペアレントトレーニングの 実施ができるよう準備中
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていますか。	11	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2		1	面談以外にも話を良く聞いてもらえる。 面談でも新たな気づきがあり勉強にな る。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1		3		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士 の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	4	1	2	9	・個人的には不要です。 ・学校の支援等の話ができる保護者交流 会があれば良い。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	11			2	送迎の依頼をした時に直ぐに対応して もらえて有難かった	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				LINEで連絡が取れるので助かる。LINEでまめにやり取りができるのはとても良いです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1		6	目にする機会がない	面談室にも各種マニュアルを設置し、訓練を行ったことをブログで公表する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			9		訓練を行ったことをブログで公表する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			4	軽い怪我でもLINEで写真が送られ、対応が速やか。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				まだ通いはじめたばかりだが楽しそうにしている／出来る事が増えて本人の自信に繋がっている／いつも楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				送迎があり助かる／得意な事が伸びる内容で普通級でも出来る事が増えて自信を持てるようになった	

公表日

2026年 3月 23日

事業所名

こぼんはうすくら 伊丹稲野教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		現状よりわかりやすい掲示にするなど工夫する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃し、毎週土曜に大掃除に該当する内容の清掃を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		そうでないと感じている職員は、ミーティングで行っている認識がないため指導していく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎週ミーティングを設けており意見を言う機会がある	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	フランチャイズ加盟店であり、本部から不定期でチェックされている	評価結果を全職員に共有していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2	自発管が原案を作成した後職員全員に共有し意見を出し合う機会を設けている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	プログラム作成ができる職員が代表して作成し、その内容について前の週に全員で打合せを行い意見を出す環境である	現在は全員がプログラム作成ができる技量ではないため、ゆくゆくは全員が作成できるようにしていく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎週見直している	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝の朝礼にて行っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	終業時間内に毎日打ち合わせを行うことは難しい為全員が日報を提出し情報共有している。打ち合わせは週1~2回実施。	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	自発音に対応	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	5	体制を整えている	具体的な連携について管理者及び自発音しか把握していない可能性があるため、全職員へ伝えていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	3		学校や保護者との情報共有は管理者及び自発音が行っている為、その事実を把握していない職員がいるので、伝えていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4		他事業所との情報共有は管理者及び自発音が行っている為、その事実を把握していない職員がいるので、伝えていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6	まだ卒業生がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		児童発達支援センターとの連携は管理者及び自発音が行っている為、事実を把握していない職員がいるので伝えていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		8		今後の課題とする
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	まだ希望がない	2026年度よりペアレントトレーニングの実施ができるよう準備中
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		わかりやすい説明を心掛けている
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	7	希望がない	参観日を設定しても良いのではないかとという職員の見があるので検討する
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		今後の課題とする

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	規定回数以上の研修、訓練を行っている	定期的でないと解釈している職員がいるため、訓練実施の際に規定回数についてもしっかり伝えていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		アセスメントシート等全職員に閲覧するよう再度指導する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	アレルギーのある子どもがいない	今後アレルギーがある子どもの通所が発生した際には医師の指示書に基づく対応をする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		安全計画について全職員に今一度伝えていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット案件が発生した時はすぐにミーティングを行っており、紙面でも確認できるよう設置している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	現在まで身体拘束の必要が発生したことはない	